

令和2年度 登米市水道事業外部評価について

登米市水道事業委託業務における、受託者の適正な業務執行状況の把握と業務の内容を適切に評価することを目的として、受託者との間で合意されたサービスが安全かつ適正な水準で確実に実施されているか確認するとともに、サービス向上の観点から業務の実施過程で生じた課題を把握し、委託先等と継続的に業務改善を行っていくため第三者による外部評価（モニタリング）を実施しました。

1. 評価対象委託業務

外部評価は「登米市水道事業浄水施設等管理運転業務」及び「登米市水道事業配水施設等維持管理業務」を評価対象としました。

詳細については、以下のとおりです。

2. 外部評価の進め方

(1) 資料等の説明

委託者より外部評価の目的等及び評価の視点並びに手順と回数、評価の基準についての説明。

(2) 受託業者からの報告

受託業者から評価期間の委託業務実施内容に伴う報告書の説明。

(3) 質疑応答・議論

業務実施内容について、委員から受託者に対し質問を行い、更に詳細な業務内容を聞き取り確認。

(4) 採点

全委員の合意の上、項目毎に採点を実施。

【登米市水道事業浄水施設等運転管理業務】

1 実施日：令和 3年 5月31日（月曜日） 午前9時00分 ～ 午後12時00分

2 会 場：登米市役所登米総合支所 2階 201会議室

3 実施体制

登米市水道事業外部評価委員会委員4名で実施しました。委員名簿は下記のとおりです。

番号	氏 名	選 任 区 分	役 職
1	やま だ かつ ひろ 山 田 一 裕	登米市上水道事業運営審議会会長 (東北工業大学工学部環境エネルギー学科教授)	委 員 長
2	おお もり とし お 大 森 敏 雄	登米市上水道事業運営審議会委員	副委員長
3	とみ い まさ お 富 井 正 雄	公益財団法人水道技術研究センター推薦	委 員
4	もろ おか さとる 師 岡 悟	公益社団法人日本水道協会推薦	委 員

4 評価期間：令和2年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月31日

5 評価結果

評価結果及び、委員会からの意見は以下のとおりです。

(1) 評点： **246点** / 384点（最大配点）

(2) 評価結果

評価結果 良好

業務実施状況において、トラブルなく適正に行われていることは評価できる。

(3) 評価項目に対する意見

① 欠員等のバックアップ体制について

(ア) 人員数を確保するだけでなく、その資質、育成体制を整えて頂きたい。

② 水質検査担当者の育成について

(ア) 水質検査業務を担える質的な保証と、人数を増やすことを継続して検討して頂きたい。

③ 業務中の事故について

(ア) 想定するリスクに見合う保険額になっているか検討して頂きたい。

④ 業務従事者の育成について

(ア) 従事者個々の技術力の向上と組織力の向上を継続して頂きたい。

【登米市水道事業配水施設等維持管理業務】

1 実施日：令和 3年 5月31日（月曜日） 午後1時00分 ～ 午後4時00分

2 会 場：登米市役所登米総合支所 2階 201会議室

3 実施体制

登米市水道事業外部評価委員会委員4名で実施しました。委員名簿は下記のとおりです。

番号	氏 名	選 任 区 分	役 職
1	やま だ かず ひろ 山 田 一 裕	登米市上水道事業運営審議会会長 (東北工業大学工学部環境エネルギー学科教授)	委 員 長
2	おお もり とし お 大 森 敏 雄	登米市上水道事業運営審議会委員	副委員長
3	とみ い まさ お 富 井 正 雄	公益財団法人水道技術研究センター推薦	委 員
4	もろ おか さとる 師 岡 悟	公益社団法人日本水道協会推薦	委 員

4 評価期間：令和 2年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月31日

5 評価結果

評価結果及び、委員会からの意見は下記のとおりです。

(4) 評点： **220点** / 381点 (最大配点)

(5) 評価結果

評価結果 概ね良好

業務は適正に履行されていることは確認できる。

知見を反映させた業務計画で、よりよい適正な管理ができるような計画を作成して頂きたい。

(6) 評価項目に対する意見

① 業務従事者への研修・教育の実施について

(ア) 技術力の向上のため、教育訓練計画を作成して、報告するようして頂きたい。

② 業務実施状況について

(ア) 業務報告では、データ等を活用して根拠を示すようにして頂きたい。

③ 水量分析の体制について

(ア) 管種ごとの管路延長を項目に入れ、分析に生かしてほしい。

④ 異常時（濁水・減水・異常流量等）の原因究明体制について

(ア) 原因究明・分析をして今後の更新計画に反映できるような体制をとって頂きたい。

⑤ 操作手順書、マニュアル整備の検証体制について

(ア) 業務で得た知見を活かしてマニュアル整備を行って頂きたい。

⑥ 占用更新及び登録体制について

(ア) 情報の修正実施の確認体制を発注者と検討して頂きたい。

⑦ 漏水対策について

(ア) 漏水対策を行ってきたが、有収率が上がっていないため、今後どのよう
に行っていくのか、積極的にアピールして頂きたい。